



【会員発表テーマの調査】

令和6年10月1日
研究発表委員会 委員長
鬼頭 正信

中部デザイン協会では、昭和56年度(1981)からデザイン研究発表会がスタートし、平成23年度(2011)まで計31回毎年開催され、故高橋会長逝去年度での中断後、平成25年度(2013)以降はテーマを設けたデザイン講演会にスタイルを変えて継続開催されてきました。そして、コロナ禍での中断せざるを得ない期間を経て、やっと昨年、令和5年度(2023)に研究会発表会が再開出来ることになりましたが、CDAでの役割「会員同志の交流の機会の提供とする」の再確認を経て、今後の研究発表会の在り方「発表会形式の見直し(多様なスタイル)」を検討するため、今回会員全員の意向を聴取することになりましたので、ご協力をお願い致します。

今回の調査では、会員皆さんの「発表可能な、もしくは聞いてみたい・見てみたいテーマ」などから、「近年の創作や活動の報告、作品紹介」などを聴取し、様々な分野のデザインに関わる多くの会員を有する中部デザイン協会ならではの発表形式で行いたいと考えております。特に近年入会された会員の方々には、自己紹介や会員同士の交流の機会の場として活用して頂ければ幸いです。

令和6年度(2024) 会員発表のテーマ調査について

Table with 3 columns: Name, Field, and Remarks. Rows include 'Possible presentation topics', 'Topics to hear/see', and 'Contact information'.

- 提出期限: 10月20日(日)
提出方法: 上記枠内にテーマなど所要事項をご記入の上、メールで下記までお送りください。